

学校法人常磐大学 広報誌 TOKIWA POST [トボス]

Topos

vol.69

Sept. 2013

徹底研究！

夢をかなえた
常磐大生がガイド

大学の サポート 活用法





夢をかなえた
常磐大生がガイド

徹底研究！

大学の サポート 活用法

これからご紹介するのは、この春、希望の就職をかなえた国際学部経営学科4年の塚原さんと短大キャリア教養学科2年の木滝さんです。2人の共通点は、学内のさまざまな学びの機会を見逃さず、それにチャレンジしてきたことにあります。彼らが自信をもって就職活動に臨み、見事内定を獲得できたのは、所属する学科の専門分野を熱心に学ぶ一方で、人との出会いや成長のチャンスを生かし、充実した学生生活を過ごしたからではないでしょうか。大学生活は人生の大切な助走期間です。自分の成長を楽しみながら、学内のサポートを上手に活用してきた2人に直撃取材してみました。

TOKIWA CAREER INFO.

「地域連携センター」が資格取得をバックアップ！

地域連携センターでは「資格取得対策講座」をはじめ、さまざまな公開講座を開講しています。

今回は
2014年2月
開講予定！

■ 証券外務員（一種・二種）資格試験対策講座

金融商品の販売に必要な知識を習得した者（資格取得者）のみが投資信託やその他の金融商品の販売業務に就くことができます。証券会社や銀行、保険会社などの金融業を目指すなら必須の資格です。試験科目は17科目。決して易しくはありませんが、試験対策を熟知した講師により、短期間で合格が可能です。

■ その他の資格取得対策講座

※春夏講座（8～9月）と秋冬講座（1～3月）の年2回開講。

[2013年度 秋冬講座（予定）]

- ・秘書検定対策講座（2級・3級）
- ・ビジネス能力検定ジョブパス対策講座（2級・3級）
- ・販売士検定対策講座（3級）
- ・ファイナンシャルプランニング技能士（3級）試験対策講座
- ・日商簿記検定対策講座（2級・3級）
- ・P検（ICTプロフィシエンシー）対策講座（3級）
- ・Microsoft office Specialist（Word 2010）対策講座
- ・Microsoft office Specialist（Excel 2010）対策講座
- ・医療事務準備講座
- ・介護職員初任者研修講座

Attention!

ここに注目！

目標を決めたら、 まず自分から動くこと

内定獲得後も役立つ資格に挑戦しました。大切なのは目的をもって学ぶことだと思います。

金融業に対する興味から 講座を受講

2年次の終わりの春休みに大学の「地域連携センター」の「資格取得対策講座」を受講し、3年次に「証券外務員資格」を取得しました。高校時代から金融関係や郵便局・農協などの複合型サービスに関する仕事をしてみたいという思いがあり、オープンキャンパスに参加した際、経営学科では簿記やマーケティングなどの専門分野が学べると聞いて、自分の将来に役立つ知識がたくさん得られると期待していました。

短期集中で 資格試験の対策は万全

講座を受講したのは、先生からのアドバイスと、春休み前に自宅に送られてきたオープンカレッジのパンフレットがきっかけです。講座は短期間でしたが、資格試験の攻略ポイントを実践的に学べたおかげで、在学中に資格を取ることができました。

塚原 翔太

SHOTA TSUKAHARA

常磐大学 国際学部経営学科4年

●内定先:

日本郵便株式会社

●取得資格:

日本証券業協会 一種外務員資格



塚原さんも木滝さんも、入学するときに描いていた希望を実現するために、きっかけを見逃さず、積極的に自分から動いていることがポイントです。机の前の勉強だけでなく「考えて」「動く」。それが希望をかなえる第一歩かもしれません。

TOKIWA CAREER INFO.

キャンパスアドバイザーは 頼れる先輩!

「TOKIWA CA」はアドミッションセンターが募集している、受験生のサポートをするボランティアです。

主な役割はオープンキャンパスの運営協力

オープンキャンパスに参加した受験生の受付や案内・誘導をはじめ、個別相談に答えたり、サークル活動を紹介したりすることが主な役割です。疑問や不安を抱えた受験生には、学生自身の体験を通した言葉が何よりの助けになります。受験生とのふれあいを通じて、またCA同士の交流から、コミュニケーション力を高めることにもつながると期待しています。



「キャンパスを盛り上げる仲間になりましょう!」

「TOKIWA CA」に興味がある人は、アドミッションセンターまでお問い合わせください。

オープンキャンパスで 先輩の姿に憧れて

キャンパスアドバイザー（CA）との出会いは、入学前。オープンキャンパスに参加したときに応対してくれた先輩がとてもイキイキとしていたのが印象的でした。その姿を見て、私も入学したら絶対にCAになろうと決めていました。1年次の夏のオープンキャンパスでは受付を担当。人と話すのが好きな私にとってはとても楽しく、もつとうれしかったのは、自分が応対した受験生が、今年の春、常磐に入学してくれていたことでした。

CAの活動で 知り合いが増えました

CAの活動は、職員の方と親しくなることができ、大学や他学科の人と交流が生まれる点も魅力です。学園祭のオープンキャンパスの際は、受付とキャンパス案内を担当しました。相談コーナーで学科の魅力を説明することで、自分の学生生活を振り返る機会にもなりました。

2年間の短大生活だから、
興味のあることには何でも
積極的に挑戦しました。

木滝 笙子

SHOKO KITAKI

常磐短期大学 キャリア教養学科2年

●内定先:

茨城県信用組合

●取得資格:

秘書検定2級
マイクロソフト オフィス スペシャリスト
(MOS)
日商簿記3級



TOKIWA CAREER INFO.

「情報メディアセンター」が自学自習をサポート。

1階から3階まで、コンピュータ施設、映像制作のスタジオや機材など、デジタル系の設備を完備。情報関連の施設を一つにまとめ、「情報メディアセンター（図書館）」と双方向で情報を提供しています。また、多目的な学習・研究スペースも備え、授業やゼミ、学生のグループワークなどに、幅広く活用されています。



▲ 開館中はいつでも自由にPCが使える「PC学習室」



▲ 資料の探し方などの質問に答える「レファレンスカウンター」



▲ グループでの作業に適した「共同学習室」

情報メディアセンターの利用法は、1年次の授業で学びます。僕は資料の検索や自習にフル活用しました。

ゼミの研究が大学生活の中心

大学での学びの中心はゼミでした。私は2年次から中岡先生のゼミに所属し、文献の購読やグループワークによる研究発表など、読む・考える・伝える力を磨いてきました。「情報メディアセンター」はレポートの作成や自習するときにPC学習室をよく利用しています。また、図書館にはグループで相談しながら学習できる共同学習室など、目的に合ったスペースが用意されていて助かります。

卒業論文にも欠かせない施設

これからは卒業論文の執筆が本格的に始まります。私は、発行部数No.1のマンガ雑誌が一人勝ちしている理由をマーケティングの観点から考察しようと思っています。特殊なテーマなので資料が少ないのですが、参考文献や他大学の研究者の先行論文を調べるとき、図書館の検索機能がとても役立っています。

Attention!
ここに注目!

大学生生活を充実させることが、 道を開くコツ

短い学生時代だから、興味や関心が湧いたものは、すぐチャレンジ! ゼミの研究に大学の施設を活用している塚原さんや、ボランティア・インターンシップに積極的に参加した木滝さんのように、大学生生活を充実させる方法はいくつもあります。

ボランティアでは、なかなか打ち解けてくれない女の子がいたのですが、最後は笑顔を見せてくれてホッとしました。



「ボランティアは自分も成長するチャンスです」

ボランティア活動に積極的に参加

2012年10月、被災地の幼稚園児と保護者をキャンパスに招く「子ども元気づけプロジェクト」にボランティアスタッフとして参加しました。地元のおいなり市ではのびのび外遊びができない子どもたちと一緒に、運動遊びや表現遊びをして過ごしました。ボランティアの存在を知ったのは、短期大学の安田先生が授業の中で紹介してくださったからです。小さい子どもと触れ合うことは、私にとっても良い経験になりました。

社会人のタフさを知った インターンシップ

春semesterの授業で履修したインターンシップは、かねてから興味があった水戸ホーリーホックにお世話になりました。事前の学習ではビジネスマナーや企業研究などを学び、実習ではスポンサー回りなどにも同行させていただきました。チームを支える仕事の大変さを肌で感じることでできた感謝しています。

TOKIWA CAREER INFO.

ボランティアや学外でのアクションが経験値になる!

「ボランティア活動」のススメ

ボランティア活動は社会と関わり、自分の力を生かす良い機会です。学生支援センターや地域連携センター、教員が紹介する情報をこまめにチェックしてみましょう。

授業の一環としての「インターンシップ」

夏期休暇を利用し、県内企業で就業体験を行う科目です。事前学習ではビジネスマナーや企業研究の方法などを学び、実習後は報告会でプレゼンテーションをするため、総合的な力が身に付きます。



就職活動前から、自己分析や業界研究などのセミナーを受講しました。いろいろな催しがあるので要チェックです。

就職支援プログラムが充実

常磐大学は就職支援プログラムが充実しており、早い時期から自己分析や業界研究などのセミナーに参加できたことがプラスになりました。「就職支援バスツアー」では東京ビッグサイトでの合同企業説明会に参加し、就職活動の雰囲気や他の学生の姿勢を知ることができ、気持ちを引き締められました。「個別相談」では、大量の応募者の中で、担当者の目に留まるエントリーシートはどう書くか、など実践的なアドバイスが役立ちました。

いつでも相談できることの安心感

面接の前には「模擬面接」もおススメです。自分では気付かない癖などもあり、不安を取り除くことができました。おかげで、本番では落ち着いて自分をアピールすることができました。就活中は、うまくいかないこともありましたが、いつでも相談できる場があるから、気持ちを切り替え、次に向かっていくことができました。

TOKIWA CAREER INFO.

キャリア支援センターは就活生の味方!

キャリア支援センターには、就職につながる情報や将来のためのヒントがいっぱいあります。1年生も大歓迎。いつでも利用してください。

●開室時間 平日 8:30~18:00
(土曜、日曜、祝日は閉室です)

「就職支援バスツアー」*

就職に対する意識を高め、企業研究を実践するため、東京で開催される合同企業説明会に参加します。2013年度は12月開催予定(大学3年、短大1年生対象)。

「個別相談」*

豊富な知識、スキルを持った職員が履歴書・エントリーシートの添削や自己分析の方法のアドバイス、模擬面接などを行っています。

*事前予約制: キャリア支援センター窓口で予約を受け付けています。



「個別相談では大変お世話になりました」

Attention!
ここに注目!

夢の実現を支えてくれる キャリアサポート体制

塚原さんも木滝さんも就職活動を始めるにあたっては分からないことだらけでした。でも、「キャリア支援センター」はそんなみんなの強い味方です。一人ひとりの希望がかなうように、すべての教職員が全力でサポートします。



TOKIWA CAREER INFO.

面接に進むためにも筆記試験対策は必須!

■ 実力アップ「就職試験筆記対策講座」

企業の採用試験の際に、筆記試験として用いられているSPIや英語、数学、社会の基本からしっかり理解できる計112回のプログラムです。学生は毎回参加することも、自分の弱点だけを選択して参加することも可能。独学で挑むよりも、時間を有効に使うことができます。

科目

1. 数理常識: 一般常識問題やSPI、Webテストなどを解くために必要な数学・理科の基礎を固める。
2. 社会常識: 一般常識問題において出題される政治経済・地理・歴史の知識の定着を図る。
3. アドバンス: 大手企業の就職試験や公務員試験で必要な応用力を養う。

*アドバンスの受講には選考試験に合格する必要があります。

講座で学んだことは、実際の就職試験でも必ず役に立ちます。早めに行動し、準備することをお勧めします。



「サポート体制は年々強化中、役立つ情報がいっぱいです」

「個別相談」で 前向きな気持ちをチャージ

エントリーシートを書く際には、ほぼ必ず相談していました。ちよつと話をしただけで、自分自身も気付いていなかったことを引き出してくださるので、自己アピールの材料がないと悩んでいるなら、まず相談することをお勧めします。望むような結果が出ず、くじけそうなとき、ちよつとした一言に救われたこともありました。いつも前向きに活動できたのはキャリア支援センターのおかげです。

対策講座で筆記試験もバッチリ

就職試験の対策としては数理常識の講座を週1回、6限目に受講していました。入学オリエンテーションの際にいただいた資料の中に「就職試験筆記対策講座」の案内があり、1年間続けて学んだことで就職活動の自信になりました。内定先の試験でも数学には手応えがあったので、続けてきて良かったと思います。キャリア支援に関する情報は随時発信されているので、こまめにチェックすることも大事です。

News and Topics

学生、生徒、園児たちは日々学び、経験し、成長を続けています。
このページでは常磐大学の各学校の取り組みやイベントの様子をはじめ、
日々の活動とその成果をお知らせします。

高校

7月2・3日の2日間にわたって
クラスマッチが開催され、
熱いドラマが繰り広げられました。

会場となったのは石岡市石岡運動公園。抜けるような青空の下、1日目は開会式に続いて陸上競技の花形であるリレーが行われました。女子は1200Mリレー、男子はスウェーデンリレー（100M×3人、200M×1人、300M×1人、400M×1人）、また、球技は男子サッカーと女子バレーボールが大いに盛り上がり、続く2日目は男子バスケットボールと、女子ドッジボールでは練習の成果を発揮しました。クラスごとに制作したオリジナルTシャツも見どころの一つ。応援にも熱が入り、迎えた最終競技は「それいけチームジャンプ」という大縄跳び。各クラス15名以上の選手が3分間で大縄を何回跳べるかを競う競技で、今年は139回を跳んだ3年3組が見事優勝しました。



幼稚園

子どもたちが普段、園生活を送っている
幼稚園で家族と一緒に遊ぶ1日。
思い出のページがまた一つ増えました。

幼稚園では、子どもが園で過ごす様子を保護者の方に実際に見ていただき、体験していただくため、「親子で遊ぶ日」を開催しています。今年は6月8日に実施。遊戯室や、園庭、保育室など、幼稚園全体を利用しました。親子でコミュニケーションをとりながら、その場で楽しめる表現遊び、自己挑戦ができるスタンプラリー、作って試して遊べるもの、生活に役立つものなど、「参加してみたい。経験してみたい」と感じてもらえる遊びがいっぱいです。朝のうち、少し雨が降り心配しましたが、子どもたちの思いが実り、過ごしやすき陽気の中で行うことができました。幼稚園で家族と一緒に過ごしたひとときが、楽しい思い出になることを願っています。



智学館

4月にロボット科学部が始動。
ロボットの動きを考え、作ることを通して、
科学する心を育てていきます。

2013年4月ロボット科学部（Lego Robot Programming Minds:智学館RPMs）が発足しました。5月には早速初めてのロボットを作り、四角いルートを進めるようにプログラムをしました。光、音、超音波の3つのセンサーを使って光と音に反応するプログラムを組んだり、さまざまな内容に挑戦し、ステップアップしていく予定です。智学館RPMsは、ロボットの仕組みを知り、プログラミングによってロボットを動かす体験を通して、楽しみながら科学、数学、英語の力をつけていく素晴らしい機会になると思います。現在も新入部員を募集中ですので、ロボットに興味がある生徒は、ぜひ教室（CR128）をのぞいてみてください。





短大

保育・福祉の現場で働く先輩たちを招いた 幼児教育保育学科の「就職ガイダンス」。 経験に基づく貴重なアドバイスをいただきました。

保育士や幼稚園教諭を目指すには、一般的な就職活動と少し異なるアプローチが必要です。そこで、毎年、学科独自の就職ガイダンスを実施しています。前半はキャリア支援センターから、就職活動のスケジュールや履歴書の書き方など、具体的な内容の解説があり、学科教員からは活動にあたっての注意点や心構えなどが説明されました。ガイダンス後半は、5人の卒業生を招いての懇談会が行われ、現在の職場を選んだ理由から就職活動で感じたことなど、実体験を基に講演していただきました。その後は幼稚園、保育園、施設とそれぞれの職場に分かれ、普段は聞くことのできない仕事の実態ややりがいなど、先輩たちの声を進路の参考にする真剣な姿が見られました。



大学

高齢者福祉施設ローズヴィラ水戸の 「ばら祭り」に学生ボランティアが参加。 地域の方々と交流を図りました。

「ばら祭り」は入居者とそのご家族、一般の方などを、ローズヴィラのバラ園に招いて行うティーパーティーです。美しいバラを鑑賞しながら、施設の職員の方との親睦を深めることが目的。このイベントに常磐大学コミュニティ振興学部の学生3人と、健康栄養学科の学生6人がボランティアで参加しました。健康栄養学科の学生たちは、オーダーに合わせて来客に振る舞うドリンクや軽食を準備。コミュニティ振興学部の学生は、ドリンクや軽食をテーブルに運ぶほか、バラ園を散歩するお年寄りの付き添いや、訪れた方々の接客などを担当しました。運営のサポートを通して、普段接する機会の少ない地域の人たちや高齢者と触れ合い、将来に役立つ貴重な体験になったことでしょう。



大学

コミュニティ振興学部地域政策学科の砂金ゼミが 憲法第96条の改正についてディベート。 その様子がNHK水戸放送局でも取り上げられました。

ディベートに際しては、ゼミ生が4名ずつ改正賛成と反対の立場に分かれ、1ヵ月以上前から資料を集め、学習し、準備を進めてきました。本番では、それぞれのチームが立論を述べた後、作戦タイムを設け、相手のチームに質疑応答を実施。勝敗はゼミの先輩方5名による多数決で決めました。参加した学生は「自分たちの意見を固めるだけではディベートは成り立たない。相手の意見や質問、反応などを予想する作業が難しかった」と話し、ディベートを企画した砂金准教授は「他人ごとのように感じていた問題が、実は自分たちの生活に密接に関係していることが実感できたのではないのでしょうか。卒業後も、議論をして自分自身の考えを持った人間になってほしい」と語りました。



大学

2013年度の 「学校法人常磐大学ローズヴィラ水戸奨学金制度」 による奨学生4名が決定しました。

この奨学金は、コミュニティ振興学部ヒューマンサービス学科に在籍する3・4年生が対象。一般財団法人安寿苑からのご寄付により、将来、社会福祉士として従事することを目指す、学業成績・人物ともに優秀な学生に対して、返還の義務がない奨学金として年額40万円が給付される制度です。2013年度の奨学生に決定したのは、3年生の笹野祐加さん、高橋美帆さん、4年生の大津美歩さん、滝田恵里さんの4名です。5月28日には、安寿苑が運営する老人ホーム「ローズヴィラ水戸」を訪れ、理事や総務部長にご挨拶しました。学生たちは、社会福祉士を目指したきっかけや社会福祉への熱意と、今後の積極的な勉強や課外活動への意欲を語り、奨学金を受けての意気込みを見せてくれました。

「まだ、食べないの?」という子どもたちのワクワクした声がたくさん聞かれ、お弁当の時間が始まると、フタを開けたときの子どもの目がキラキラしていて印象的でした。今回はみんな、大好きなもののばかりたくさん入っていたようですが、お弁当を通して、少しずつ苦手な食べ物にも挑戦し、丈夫な体づくりができたかと願っています。また、食事のマナーなども伝え、楽しい時間を過ごしたいと思います。



幼稚園

常磐大学講師を招いて 第1回「育児に役立つ勉強会」を 開催しました。

5月22日、常磐大学講師の大森猛先生をお迎えし、「五徳の美人に学ぶ親子のかかわり」という演題で講演をいただきました。終始ユーモアのあるお話の中でも、親子のかかわりで大切なことは、①人を信じる力、自分を信じる力をつけるための基本的信頼をつくる、②子どもの心の安定の基盤は母親の愛情から、③子どもの話を傾聴する、という3点が印象深く心に残りました。五徳の美人については、おかめの面を用いて、親としての大切な心得を説いていただき、参加した保護者の方々が学びの多い勉強会になった様子でした。



大学

学生ボランティアの協力のもと 7月2日、常磐小学校1年生83名が キャンパスを「なつたんけん」!

人間科学部の小関一也准教授が、近隣の小学校より依頼を受けて実現した地域連携活動で、春・夏・秋・冬の年4回、小学1年生の生活科の授業を担当する企画です。今回は「なつたんけん」と題して、中村泰之ゼミの学生が作成した「ふしぎマップ」を片手に、学生ボランティア1名に児童3名の小グループで常磐大学見和キャンパス内を探検しました。参加した学生は「1年生が元気いっぱいだった」「あまりのかわいらしさに思わず笑顔になった」と口々に感想を述べ、子どもたちから元気を分けてもらい、楽しく充実した時間を過ごしたようです。



大学・短大

5月9日からTalk Timeを再開しました。 初心者の方も大歓迎です。

Talk Timeはお昼休みの40分間、ネイティブスピーカーの教職員と外国語での会話を楽しむ活動です。英語(毎週木曜日)、中国語(毎月第1水曜日)、韓国語(毎月第2火曜日)の3言語で展開しています。予約の必要はなく、部屋の出入りも自由なので、気軽に参加できるのも魅力の一つ。英語の1回目には29名の学生が参加し、予定していた教室に学生が入りきれないほど好評でした。うまく英語の表現が出てこなくても教職員のフォローがあるから大丈夫。興味のある方は国際交流語学学習センターまでお問い合わせください。



智学館

4月26・27日、1年次生が、 つくばにて1泊の宿泊学習を行いました。

1日目は筑波山登山と野外炊飯、2日目は山ビンゴにハイキングと、アクティブな宿泊学習でした。筑波山登山では、6年次生と一緒に山頂を目指し、交流を深めました。宿舎では、6年次生から智学館での生活についての説明、有意義な学校生活を送るようにと期待をこめたメッセージ、エールなどが送られ、6年一貫教育の良い面が存分に出た行事でもありました。1年次生にとっては、先生や友だち、先輩との友好を深める絶好の機会になり、6年次生にとっては、受験勉強に向けた最後の節目としての思い出深い行事となったようです。



幼稚園

5月7日、年少さんが待ちに待った お弁当始めの日がやってきました。

今年の春入園した年少さんたちが、5月からいよいよお弁当開始。当日は、朝から「今日はお弁当でしょ?」



智学館

6月9日「智学館カップ」を開催。 年次を超えたつながりを深める 大切な1日になりました。

全年次の生徒が「赤」「青」の2団に分かれて競い合う「智学館カップ」。今年度は、初めて1年次から6年次までの全年次がそろそろ記念すべき大会となりました。注目の大縄跳びでは3年次生が下級生をリードし、棒倒しでは4年次から6年次が年次の棒を超え、各団一致団結して手に汗握る攻防を繰り広げました。また、全生徒が参加して行われた応援合戦では、応援団長を中心に生徒が全力を尽くし、汗と感動の涙を流しました。競技を通して年次を超えたつながりが生まれることが「智学館カップ」の醍醐味です。



高校

タイからの留学生、セプトくんが 5月に帰国。お別れ会では クラスメイトと思い出を交換しました。

2012年9月よりロータリークラブを通じて本校に留学していたセプトくん(Kanthadej LAPPROMRATTANA)が5月31日に帰国しました。帰国に先立つ5月22日には、常磐大学国際交流語学学習センターで生徒17名と教授、大学生が「セプトくんを囲んでの交流会」を開き、和やかな雰囲気の中、みんなでタイを感じることができました。また、最終日となった5月28日には2年特進コース全員が同窓会館でお別れ会を開催。最後の思い出づくりをして、別れを惜しみました。



智学館

6月11日、国立劇場にて 新歌舞伎十八番の内「紅葉狩」を 鑑賞しました。

東京の国立劇場で行われる「歌舞伎鑑賞教室」に参加しました。「紅葉狩」という演目で、女形の優雅な舞や、鬼女との激しい立ち廻りなど、目が離せない1時間でした。上演の前には、若手歌舞伎俳優から「歌舞伎のみかた」の説明があり、生徒たちは同世代の俳優の活躍に刺激を受けたようです。歌舞伎に対して具体的なイメージを持っていなかった生徒たちも、目の前で本物を鑑賞することを通して、音楽や舞台装置に感動したり、古典の授業とのつながりを意識したり、歴史を感じたりと、さまざまな感想を持っていました。



大学

5月25・26日2日間の 「交流合宿」で、健康栄養学科の 交流がぐんと深まりました。

1年生を中心に、上級生や教員も合わせて約90名が集合。天候にも恵まれ、スポーツ大会、ワークショップ「国家試験に向けて：1年生からできること」、バーベキュー大会・カレーコンテストなどを実施。参加した学生の「先生方と本気でバレー対決をしたり、スポーツ大会を通じて学科全体の交流が深まりました」という感想からも予想以上の成功ぶりがうかがえます。学生実行委員から「来年度以降は学生の力だけで合宿の企画・運営をしたい」という申し出があるなど、短い時間ながら学生たちの成長ぶりを知る交流合宿になりました。



幼稚園

年長さんたちが新しい運動遊びに挑戦。 風に乗って飛ぶフリスビーの感触に みんな、夢中になって遊びました。

スポーツ医学を専門とする短期大学幼児教育保育学科の森慎太郎先生と学生さんたちが一緒に、元気いっぱい体を動かして遊びました。5月21日に行われた今回の活動は「フライングディスク(フリスビー)」です。子ども用の柔らかいフリスビーが風に乗ってスーッと滑るように飛んでいくと、子どもたちは大喜び。張り切って何度も挑戦する姿があちこちで見られました。また、距離によって点数が加わるゲームにもみんなで参加し、どこまで飛ばせるか競い合いました。次回の「運動遊び」にも子どもたちは期待でいっぱいです。



高校

体操部がインターハイに! 水泳部は関東大会に出場! 厳しい練習の成果を存分に発揮しました。

本校の部活動はそれぞれ優秀な成績を収めていますが、今年度は体操部がインターハイに、水泳部が関東大会に出場を決めました。体操部は男女各4名計8名の選手たちが7月28～30日に佐賀県で行われたインターハイに茨城県代表として出場しました。また、水泳部は7月21～24日に埼玉県で行われた関東高等学校水泳競技大会に、競泳13名、飛び込み1名の選手が出場しました。それぞれに普段の練習の成果を発揮し、ベストを尽くすことで選手たちは大きな成長を遂げたはずで



高校

6月12日、外務省首席事務官をお招きし 講座を開講。外務省の役割や、 仕事のやりがいを学びました。

外務省首席事務官の今田克彦さんをお招きし、外務省の仕事や国際理解について話を聞く特別講座を実施しました。会場となったのは同窓会館・楓ホールで、2年生約100人が参加しました。講演のテーマは「外交政策実現のステージ 外務省の仕事とは」。今田さんは日本と世界をつなぐ懸け橋となることが外務省の役割であり、日本と日本人の平和・安全・豊かさを守るために努力していると語り、「高校時代には世界を知り、日本を知ってほしい」と呼びかけてくださいました。



大学・短大

6月15日、保護者を開催。 大学を身近に感じていただく 良い機会になりました。

6月15日、2013年度常磐大学・常磐短期大学保護者を開催しました。水戸ホーリーホックの沼田社長を招いての講演会、学生活動発表、学生食堂体験、後援会総会(大学)、父母の会総会(短期大学)、学科別懇談、施設見学と、盛りだくさんの一日に。日頃来校することの少ない保護者の方々に大学・短期大学の取り組みをご理解いただく良い機会となりました。大学・短期大学では、今後も継続して保護者の方々との連携を大切に、さまざまな活動に取り組んでいきます。

Spotlight

地域や世界で力を試し、さまざまな活動を通して実践的に学ぶ。また、優れた研究成果を社会に発信する。
こうした学内外で行われている活発な活動にスポットを当ててご紹介します。



第63回茨城県高等学校選手権(2013年6月22日~23日)でのリレーチームの成績
●男子400mフリーリレー3位 ●男子800mフリーリレー4位 ●男子400mメドレーリレー2位
3種目とも関東大会の出場権を獲得

Spotlight 01 部活動

リレーチームをはじめ、関東大会出場権を多数獲得。
厳しい練習にも耐えられるのは仲間がいるからです。

常磐大学高校 水泳部 男子リレーチーム 水泳部主将 上村 祐樹

常にベストタイムを更新することが目標。

1回1回の練習に本気で取り組むことを心がけています。

中学生のころ、水泳部の練習を見学し、先輩たちの速く強い泳ぎに憧れて入学しました。校舎の最上階に室内温水プールが整い、年間を通して泳げることも魅力でした。これだけの施設がある高校は他になかなかないと思います。

僕たちの水泳部は、一人ひとりが目標に向かって努力しながら、お互いに泳ぎを教え合ったり、協力し合うチームワークが特徴です。特に、リレーはチーム全員が力を伸ばすことが確実に強くなる道ですし、後輩にアドバイスするためには自分も学ぶ必要があり、泳ぎに対する考えが深まるように感じています。

今年6月に行われた県高等学校選手権(兼、関東高校県予選会)では男子総合2位、女子総合優勝を遂げ、また、男子は個人で9種目、リレーで3種目、女子は個人で11種目、リレーで2種目が関東高校出場権を得ることができました。

試合では、いつもベストタイムを更新することを心がけています。そのためには、1回1回の練習に本気で取り組むことが大切です。また、情報収集や研究を基に、考えて泳ぐことも欠かせません。

メドレーリレーは4人がバランスよく速くなければ勝てないという難しさがあり、だからこそ勝てたときの喜びは大きく、みんなで盛り上げられるところが好きです。部活動を通して、僕は仲間の大切さ、努力すること、感謝することの大切さを学びました。それを後輩にも伝えていきたいと思っています。



男子リレーチームメンバー(写真左から)

上村 祐樹 3年 [担当種目: 背泳]	泳ぐことに集中できるのは保護者の方や学校、先生方のおかげ。練習前後のあいさつと、感謝の気持ちを忘れないことが大事だと思っています。
木村 和樹 2年 [担当種目: 平泳]	部活動では努力の大切さをあらためて知りました。一本一本のレースを振り返り、良かった点、反省点をトレーニングに生かすようにしています。
檜山 尚輝 3年 [担当種目: 自由形]	チームで1位を目指し、チームのために一人ひとりがベストを尽くすことがリレーの魅力。仲間がいるから厳しい練習にも耐えられるのだと思います。
笹 龍平 1年 [担当種目: バタフライ]	チームが強くなるために考えることで、自分もレベルアップすると感じています。大切なのは毎日の積み重ね。質の高い練習をするよう意識しています。

Spotlight 02 輝く生徒

米国アリゾナ州で行われたジュニア大会で 各国の招待選手や全米トップジュニアとの戦いに初挑戦。

丹野 寧々 智学館中等教育学校 6年次



アメリカの大会では試合後のバッティング大会やニアピンコンテストで友人ができ、良い経験になりました。もっと世界中の人とコミュニケーションをとれるよう、英語力を高めたいと思っています。

先生方や仲間の存在に支えられて、
ゴルフに打ち込むことができました。

今年3月の「石川遼カップジュニアゴルフチャンピオンシップ」で入賞したことが認められ、5月下旬に日本代表としてアメリカの国際大会に参加しました。ゴルフは、練習の成果が数字として表れるところが魅力です。そのためには自分に厳しい練習が必要です。私は、練習場でも常に試合をイメージし、プレッシャーのかかる状態を意識して、1球1球真剣に打つことを心掛けています。また、大会に出場することで、さまざまな地方の選手と友人になれることもゴルフの楽しさの一つです。

智学館には補習などに時間を割いてくださる先生方や応援してくれる友人がいて、試合で欠席することが多い私にとって、その存在は大きな支えになっています。卒業後はゴルフ部のある大学に進学することを希望しています。これまではずっと個人の戦いでしたが、仲間とともに「チームワーク」で上位を目指すことに挑戦したいと思っています。

目標はプロです。謙虚な気持ちを忘れず、見ている人に喜びと感動を与えられるようなトッププレイヤーになることが夢です。

Spotlight 03 著書紹介



- ① 社会福祉学習双書 2013
法学（権利擁護と成年後見制度／更生保護制度）
 - ② 藤本 哲也
被害者学研究科 教授
 - ③ 「社会福祉学習双書」編集委員会 編
 - ④ 2013年2月
 - ⑤ 全国社会福祉協議会
- 本書は、広く社会福祉を学ぶための学習書であり、社会福祉士等の教育カリキュラムの見直しを受け、それに準拠した標準的テキストとして刊行されたものです。



- ① 科学化する日常の社会学
 - ② 水嶋 陽子
人間科学部 准教授
 - ③ 西山哲郎 編
 - ④ 2013年4月
 - ⑤ 世界思想社
- 正しい子育ての知識は、育児の専門家や育児産業だけが決めるものではありません。ベビーフード普及の裏には、専門家と消費者である母親たちの駆け引きがありました。

常磐大学の教員が執筆した さまざまな分野の著書を ご紹介します。

① 著書名 ② 氏名・所属・職位 ③ 著者・編者等 ④ 発行年 ⑤ 発行所



- ① 国際機構論
 - ② 渡部 茂己
国際学部 教授
 - ③ 内田孟男 編著
 - ④ 2013年5月
 - ⑤ ミネルヴァ書房
- グローバル・ガバナンスの中心的担い手である国連を中心に、国際機構の組織と活動の全体像を解説した体系書。渡部は、第1章「国連の歴史的背景と目的・原則・組織」を担当。



- ① 国語科教育学研究の
成果と展望 II
 - ② 渡邊 洋子
人間科学部 准教授
 - ③ 全国大学国語教育学会 編
 - ④ 2013年3月
 - ⑤ 学芸図書
- 全国大学国語教育学会編「国語科教育学研究の成果と展望I」が2002年に出版されてから10年がたちました。2003年から2012年までの国語科教育学の集大成となる一冊です。



- ① 知って役立つ あったか会話術
—福祉現場に求められるコミュニケーション—
 - ② 木村 由希
幼児教育保育学科 専任講師
 - ③ 高橋真知子 編著
 - ④ 2013年3月
 - ⑤ 茨城県社会福祉協議会
- 福祉現場で働く方々の心温まる体験談や、より良いコミュニケーションのためのアドバイスなど、身近で役立つ話が満載。福祉職希望の学生にも必ず役立つ一冊です。

寄付者ご芳名

ご厚情に深く感謝し、以下のとおりご報告いたします。(敬称略)
[2013年4月～6月受け付け分]

● 諸澤幸雄奨学金制度の創設・充実

法人	(株) 水工エンジニアリング*	100,000円
	竹中 治利*	500,000円
	伊佐山 忠志*	300,000円
	中村 和彦*	270,000円
	中崎 啓子*	180,000円
	大槻 行徳*	84,000円
	関 敦央*	
	富田 恭平*	70,000円
	久松 雄大*	41,000円
	坂井 和志*	36,000円
個人	伊達 幸輝	10,000円
	石田 喜美*	
	上野 正志	
	江原 麻子*	
	菅野 弘久*	
	工藤 典人*	
	齊藤 具子	
	関 いつみ*	
	田邊 正*	
	千葉 茂*	

累計寄付金額 **75,712,026円**

● 複数回お申し込みくださいました方は芳名に*を付し、金額は累計額を表示いたしました。

● 社会福祉士を目指す学生への支援

[2013年度実施事業分]

一般財団法人 安寿苑 **1,600,000円**

累計寄付金額 **3,200,000円**

寄付のお願い

開学100周年記念事業募金へ寄付を賜り、誠にありがとうございます。本学では諸澤幸雄奨学金制度を創設し、その充実および継続的運営を目的に2009年11月から募金を開始しました。この間、多くの皆さまよりご寄付を賜りました。重ねて御礼申し上げます。本学では、この制度をより充実させるため、引き続き募金の受け付けをまいります。ぜひとも募金の趣旨をご理解いただき、ご寄付を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

★寄付金の申し込みおよび問い合わせ

学校法人常磐大学 会計経理課(寄付係)

tel: **029-232-2759** e-mail: **kifu@tokiwa.ac.jp**

※寄付募集の詳細については、ホームページをご覧ください。

諸澤幸雄奨学金 奨学生決定のお知らせ

2013年4月～6月に開催した
諸澤幸雄奨学金奨学生決定通
知書授与式について、以下の
とおりご報告いたします。



● 大 学 … I 種奨学生 4名
… II 種奨学生 3名

● 短期大学 … II 種奨学生 1名

information TOKIWAインフォメーション

大 学 院

★ 春セメスター学位授与式
秋セメスター入学式 …… **9/19**(木)

★ 心理臨床センター講演会 …… **10/20**(日)

大 学 ・ 短 大

★ ときわ祭・
オープンキャンパス … **10/26**(土) **27**(日)

★ TOKIWA高校生英語
プレゼンテーションコンテスト …… **10/26**(土)

高 校

★ 秋季学校説明会
… **10/20**(日) **10/26**(土) **11/3**(日)

★ 芸術鑑賞会 …… **10/30**(水)

智 学 館

★ 智学館フェスティバル(文化祭) …… **9/15**(日)

★ 入試説明会 …… **10/20**(日)

★ English Day …… **10/26**(土)

幼 稚 園

★ 避難訓練(地震時保護者お迎え訓練) … **9/18**(水)

★ 入園説明会 …… **9/20**(金) **10/15**(火)

★ 体験入園 …… **9/27**(金) **10/23**(水)

★ 育児に役立つ勉強会 … **10/16**(水) **11/6**(水)

アンケートご協力をお願い

- ①印象に残った記事とその理由など
 - ②今後、広報誌で取り上げてほしいテーマなど
- 皆さまからのご意見・ご感想をお寄せください。

※名前、住所、本学との関係(在籍者の場合、所属する学校名)も併せてご記載ください。

e-mail: **Kikaku@tokiwa.ac.jp**

〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430-1

お寄せいただいた方に、
抽選で20名様に
常磐大学オリジナルグッズを
差し上げます。



Topos vol.69 Sept. 2013

学校法人常磐大学 広報誌 [トボス]

2013年9月発行
学校法人常磐大学 総務課広報係
〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430-1
Tel. 029-232-2511(代)

TOKIWA

<http://www.tokiwa.ac.jp/>

● 常磐大学大学院
● 常磐大学
● 常磐短期大学



● 常磐大学高等学校
● 常磐大学幼稚園
● 智学館中等教育学校



常磐大学は平成21年度
大学評価の結果、(財)大
学基準協会の大学基準
に適合していると認定さ
れました。



常磐短期大学は平成20
年度(財)短期大学基準
協会による第三者評価
の結果、選定と認定され
ました。